

「SO - 」バックナンバーご紹介



vol.1 1996.12創刊号
特集 エレクトロニック
コマースの現状と課題
社長対談 相磯 秀夫
(慶應義塾大学
大学院教授)
課題発見 株式会社
ケイネット



vol.2 1997.SPRING
特集 進化するサイバー
スペース
課題発見 株式会社
イオン / 株式会社アルク



vol.3 1997.SUMMER
特集 ソフトウェアプロ
セスの品質管理
課題発見 富士ソフト
ABC株式会社



vol.4 1997.WINTER
特集 インターネットビジ
ネスとその展望
課題発見 伊藤忠テクノ
サイエンス株式会社



vol.5 1998.SPRING
特集 モバイルコミュニ
ケーション時代
課題発見 松下通信工
業株式会社 パーソナル
コミュニケーション事業部
静岡工場



vol.6 1998.SUMMER
特集 企業の変革と情
報技術(IT)
社長対談 倉重 英樹
(プライス ウォーターハウス
コンサルタント株式会社
代表取締役会長兼社長)
課題発見 日本ヒューレツ
ト・パカード株式会社



vol.7 1998.AUTUMN
特集 TCO削減に欠か
せない性能評価
社長対談 所 眞理雄
(ソニー株式会社
上席常務IT研究所長)
課題発見 株式会社
東洋情報システム



vol.8 1999.WINTER
特集 コンピュータレ
フォニーの新潮流
課題発見 株式会社
岡村製作所



vol.9 1999.SPRING
特集 離陸しはじめたエ
レクトロニックコマース
社長対談 渡辺 邦昭
(12テック/ロジーズ・ジャパン
株式会社 代表取締役社長)
課題発見 株式会社東芝



vol.10 1999.SUMMER
特集 ライフスタイルの
変化を促すエレクトロニッ
ク・コマース・サービス
社長対談 菅原 敬明
(サン・マイクロシステムズ
株式会社 代表取締役
社長)
課題発見 株式会社
ザ・アール



vol.11 1999.AUTUMN
特集 21世紀を見据え
たIT型オフィス
社長対談 和田 昭允
(理化学研究所 ゲノム科
学総合研究センター 所長)
課題発見 株式会社
ミンウロコ



vol.12 2000.WINTER
特集 コミュニケーション
の新たな可能性
社長対談 内田 俊一
(財団法人日本情報処理
開発協会 先端情報技術
研究所 所長)
課題発見 スリーコム
ジャパン株式会社



vol.13 2000.SPRING
特集 ネットビジネスの
新潮流ASP
社長対談 櫻 昭夫
(放送大学学園 理事/前
郵政省技術総括審議官)
課題発見 サンスター
株式会社

バックナンバーのお問い合わせ先
NTTソフトウェア株式会社
コーポレートコミュニケーション部
「SO - 」編集室
E-mail so-info@cs.ntts.co.jp
Fax 03-5782-7044

バックナンバーは弊社ホームページ
<http://www.ntts.co.jp/>
にてご覧いただけます

編集後記

今回は会社創立15周年の記念号として、今話題のバイオ科学を特集テーマにとりあげました。

生物での情報伝達の仕組みは何億年という長い年月をかけて創られたとはいえ、そのすごい仕組みには感嘆せざるを得ません。ハード的な情報伝達は遺伝子という形で伝えられますが、その生物が活着している間に獲得した知識・情報を次の世代に伝えることのできるのは、人類のみで、その手段のひとつとしてITが重要な役割を果たしています。

加速度的に増えていく知識・情報をどのように蓄積し利用するか、その使い方の教育はどうするか、ITへの期待と課題はますます大きくなっていきます。

SO - では今後もITに関わる話題をタイムリーにお届けしたいと思います。(田島)

今回の「ゲノム」や「エネルギー」のお話を聞き、技術の進歩より、自然の偉大さの方が私の中で浮き彫りになってくるように思いました。こんなに偉大なものが、一番身近にあることが不思議な感じです。

「本物」というものは、目立たずに、ゆとりをもって淡々と、精密につくりあげられるものなのではないのかな～、と思う今日の頃です。(山口)

先日、家に帰ると宅配便不在通知が届いていました。発送先は、ビール。楽しみにしていたら、副賞のかわいいジョッキが届けられました。ガッカリしたものの、そのジョッキで、おしくビールを頂きました。

ところで、SO - でもアンケートにご回答くださった方にプレゼントを差し上げています。今回、編集スタッフが半数ほど変わりました。読者の皆様の声を反映させる絶好の機会ですので、ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントをGetしてください。(上野)

発行 / NTTソフトウェア株式会社
コーポレートコミュニケーション部
「SO - 」編集室
発行人 / 田島 孝
発行日 / 2000年7月13日
〒108-6113 東京都港区江南2-15-2
品川インターシティビル B棟 13F
TEL 03-5782-7041
E-mail so-info@cs.ntts.co.jp
Homepage <http://www.ntts.co.jp/>
企画編集 / 株式会社ジャパンライフデザインシステムズ
編集協力 / ブラケット
撮影 / 岩瀬陽一・大塚勉・松岡広樹
イラスト / 保田多三雄
デザイン / U.D.M
印刷 / 大日本印刷株式会社



SEED 一表紙の種一

【スカピオサ・ステラタ】

属 スカピオサ(マツムシソウ)属
学名 Scabiosa Stellata

南ヨーロッパに分布し、桃・青・白色花をつける。
花期は7～11月。



「奏」…情報のコンチェルト

橋田正一(ライター)

情報が集って美しい「コンチェルト」協奏曲を奏でている。モーツァルトのピアノ協奏曲21番のように。情報はひとつでは意味を持たない。二つ以上になって初めて差異を生じ、意味を持つ。いま世界は無数の情報によって織り上げられている。では世界は制御不能な雑音の塊かというところではない。パラパラに勝手に動いているように見える情報も、よく聞くとひとつの大きなハーモニーを奏でているのだ。世界も宇宙も、意味するところは同じである。どちらも時間×空間としての「時空」である。「世」は過去、現在、未来。「界」は東西南北上下。「宇」は天地四方。「宙」は古往今来。「私」は空間というものは物に席を与えるものだと考えている。どの席を占めるかで粒子の特性が決まる。時間というはその席のうずめ方の変わりぐあいだ。どの部屋に入るかで運動状態が決まる」とは湯川秀樹博士の言葉だ。激しく錯綜する時空のなかで、情報も自ずからの意味と位置を悟り、そこに定まり、ひとつの大きなハーモニーの一員となっていくのだろう。セルフオーガナイゼーション。情報の自己組織化。さなぎが蝶に、おたまじゃくしが蛙に変身していくように、情報は自ら生命体化してその最終形へとまっしぐらに突き進んでいくように見える。いや、そうではないのかも知れない。自己組織化も進化もすべて人間が考え出した概念に過ぎず、世界はただ神が奏でる協奏曲として、無限の変容を続けているだけなのかも知れない。